

ツミ アカハラダカ

ツミ	— Japanese Lesser Sparrow Hawk
または	Japanese Sparrowhawk
アカハラダカ	— Chinese Sparrowhawk
または	Gray Frog Hawk
	Chinese Goshawk

ツミは、日本の *Accipiter* (ハイタカ属) の中で最も小型 (翼開長 51~63cm)、最も俊敏で攻撃性も激しく、その意味ではハイタカ属の代表選手といえましょう。近年市街地の公園、学校などのサクラやケヤキの樹上で営巣繁殖する例が増えています。時には、知らずに接近する人に対して、猛然と威嚇攻撃をすることもあります。

Sparrowhawk (雀鷹) の名のとおり、主食はほとんど (90%) が小鳥類で、そのうちスズメが 70% を占め、20% がシジュウカラであるといわれています。

世界中に 49 種の *Accipiter* (ハイタカ属) が確認されており、その内 17 種に Sparrowhawk の名がつけられています。

Chinese Sparrowhawk (アカハラダカ) は、主として西日本でまれに観察されますが、その英名は 3 通りもあり混乱を招きそうですが、ここではいままでの流れから、Sparrowhawk を用いて、その分布に由来する名称で、

Eurasian Sparrowhawk	— ハイタカ
Japanese Sparrowhawk	— ツミ
Chinese Sparrowhawk	— アカハラダカ

と覚えておきましょう。更に深く追求すれば奥があることを念頭に…。

アメリカでは以前アメリカチョウゲンボウ American Kestrel を Sparrowhawk と呼んでいたのが、今でも混同のおそれがあります。要注意。

大宮のハクトウワシ